

特別企画：2021年度長野県内機械系製造業売上高ランキング

上位 50 社の総売上高は 3 兆 1345 億円、初の 3 兆円台 伸び率は調査開始後最大の 20.4%、増収企業は 41 社

はじめに

長野県内に多数集積する機械系製造業は、海外の動向も含め景気の動きに敏感に反応し、大きく上下動する特徴を持つ。近年は米中貿易摩擦や世界的な新型コロナウイルス感染拡大により環境が悪化し、業績が伸び悩むケースも散見されたが、コロナからの回復局面では他の産業と比べ高い景況感を維持し、県内景気を牽引してきた。輸出関連企業が多く、円安の進行が追い風となる反面、原材料価格の高騰、さらには半導体などの調達難にも直面している。

先般行った「2021年度長野県内企業売上高ランキング（全業種・上位 100 社）」では、100 社中製造業が 46 社を占め、そのうち機械系製造業は 35 社がランクイン。大幅増収企業も多く、100 社の総額が初めて 5 兆円を突破する原動力となった。

帝国データバンクでは毎年、県内機械系製造業者を対象とした売上高ランキング（上位 50 社）を作成しているが、今回 2021 年度（2020 年 4 月～2021 年 3 月）に到来した各社の決算期における売上高を対象に最新のランキングを作成した。連結決算を行っている企業も、すべて単体の数字を採用している。なお、機械系製造業とは日本標準産業分類で「機械製造業」「電気機械器具製造業」「輸送用機械器具製造業」「精密機械、医療機械器具製造業」に該当する業種。

調査結果（要旨）

■上位 50 社の総売上高は 3 兆 1345 億 7500 万円、前年度比 20.4%増

2021 年度県内機械系製造業売上高ランキングにおける上位 50 社の総売上高は、前年度比 20.4%増の 3 兆 1345 億 7500 万円。伸び率は調査開始後最大。総売上高も初めて 3 兆円を突破し、過去最高を更新した。前年度を上回るのは 3 年ぶり。

■増収企業 41 社、減収企業 6 社、増収企業は過去最多と並ぶ

50 社のうち増収企業は 41 社、減収企業は 6 社（3 社は比較せず）。増収企業は前年度の 16 社から 25 社増加した。増収企業数は、2017 年度と並び過去最多。また、3 年ぶりに増収企業が減収企業を上回っている。

■上位 5 社は変動せず、新たに 3 社がランクイン

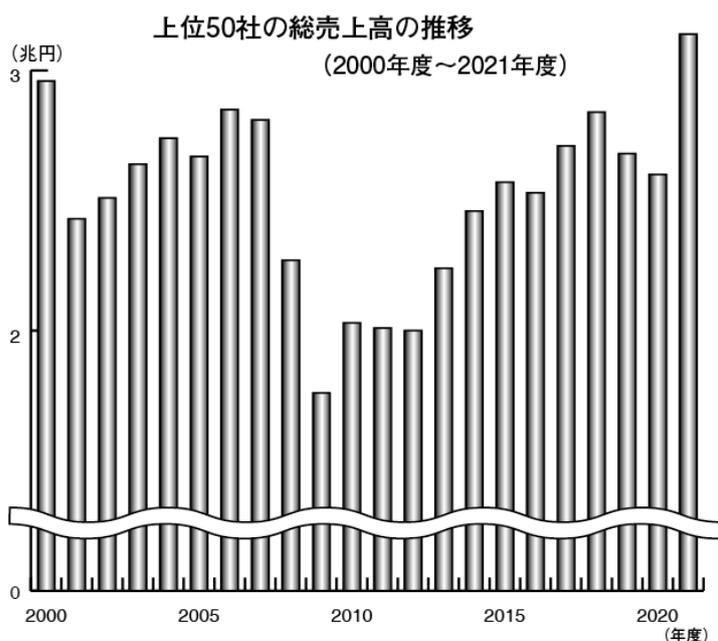
売上高トップは、2022 年 3 月期に 8234 億 4800 万円を計上したセイコーエプソン（株）（諏訪市）で、同社がトップとなるのは調査開始以来 22 年連続。ミネベアミツミ（株）（御代田町）、新光電気工業（株）（長野市）、（株）竹内製作所（坂城町）、日本電産サンキョー（株）（下諏訪町）までの上位 5 社は前年度と変わっていない。前年度圏外から新たにランクインしたのは 3 社。

1. 50社の総売上高は3年ぶりに増加、3兆円を突破して過去最高を更新

2021年度決算（2021年4月期～2022年3月期）を対象とした県内機械系製造業売上高ランキング。上位50社の総額は3兆1345億7500万円と、前年度から5313億5800万円、率にして20.4%増加した。増加は3年ぶりで、2000年度を上回り、過去最高を更新している。伸び率もこれまでで最も大きい。

総売上高が最も小さかったのは、2009年度の1兆7614億6400万円。機械系メーカーは海外経済との関係が深いのが、2008年に発生したリーマン・ショック後、世界経済が急激に冷え込んだ影響を受け、19.5%減（2008年度）、22.4%（2009年度）と2年連続して大幅に減少し、初めて2兆円を割り込んだ。その後は増加基調に転じ、2018年度には2兆8445億3700万円まで上昇したが、2019年度は米中貿易摩擦、2020年度は新型コロナウイルス感染拡大と相次いで逆風に直面し、2年連続で減少していた。

コロナによる経済悪化の底となったのは2020年前半。以降、経済は回復局面に入り、国内外の需要を取り込む一方、新たなニーズにも対応して売り上げを伸ばす機械系メーカーが目立った。輸出関連企業にとっては、円安も追い風となった。一方、原油・原材料価格の高騰や半導体不足などの懸念材料も多く、それらは2022年度に入ってからも続いている。



	金額(百万円)	前年度比(%)
2000年度	2,960,925	—
2001年度	2,432,201	▲17.9
2002年度	2,515,831	3.4
2003年度	2,644,186	5.1
2004年度	2,747,692	3.9
2005年度	2,672,613	▲2.7
2006年度	2,851,763	6.7
2007年度	2,818,464	▲1.2
2008年度	2,270,090	▲19.5
2009年度	1,761,464	▲22.4
2010年度	2,032,298	15.4
2011年度	2,014,562	▲0.9
2012年度	2,008,978	▲0.3
2013年度	2,235,054	11.3
2014年度	2,458,009	10.0
2015年度	2,571,334	4.6
2016年度	2,526,271	▲1.8
2017年度	2,711,178	7.3
2018年度	2,844,537	4.9
2019年度	2,689,504	▲5.5
2020年度	2,603,217	▲3.2
2021年度	3,134,575	20.4

2. セイコーエプソンが22年連続トップ、上位5社は2019年度以降変動なし

売上高トップはセイコーエプソン（株）（諏訪市）。2022年3月期は8234億4800万円を計上し、調査開始以来22年連続して首位の座にある。以下、ミネベアミツミ（株）（御代田町）、新光電気工業（株）（長野市）、（株）竹内製作所（坂城町）、日本電産サンキョー（株）（下諏訪町）まで2019年度から3年間変動していない。シチズンマシナリー（株）（御代田町）が前年度の14位から8位、（株）ミマキエンジニアリング（東御市）が13位から9位へ上昇し、トップ10入りしている。

上位50社のうち47社は前回から引き続いて、3社は50社圏外から新たにランクインしている。

3. 増収企業は41社で過去最多タイ、30%以上増も11社

50社のうち、増収となったのは41社、減収は6社（3社は比較せず）。増収企業が減収企業を上回るのは3年ぶりで、2017年度と並びこれまでで最も多い。増収41社のうち、「10%以上増」

が33社、「20%以上増」が23社、「30%以上増」が11社と、伸び率の大きな企業が目立つ。

増収企業のうち、伸び率が最も大きかったのは工作機械開発製造のシチズンマシナリー（株）。新型コロナウイルスの影響が薄れつつある中、国内外で拡大した設備投資需要を取り込み、2022年3月期の年売上高は523億4500万円と前期から66.5%増加した。また、半導体パッケージ開発製造の新光電気工業（株）（長野市）は、旺盛な半導体需要を背景に業績を伸ばし、2022年3月期の年売上高は前期を45.9%上回る2631億7200万円を計上している。

以下、（株）コシナ（中野市）の43.3%増、（株）日本ピスコ（岡谷市）の38.7%増などと続く。

増収・減収企業数の推移（2000～2021年度）

	増収		減収			増収		減収	
	社数	構成比	社数	構成比		社数	構成比	社数	構成比
2000年度	40	80.0%	8	16.0%	2011年度	26	52.0%	23	46.0%
2001年度	14	28.0%	36	72.0%	2012年度	26	52.0%	24	48.0%
2002年度	30	60.0%	20	40.0%	2013年度	34	68.0%	16	32.0%
2003年度	38	76.0%	12	24.0%	2014年度	40	80.0%	10	20.0%
2004年度	38	76.0%	11	22.0%	2015年度	28	56.0%	22	44.0%
2005年度	31	62.0%	18	36.0%	2016年度	32	64.0%	18	36.0%
2006年度	32	64.0%	18	36.0%	2017年度	41	82.0%	8	16.0%
2007年度	32	64.0%	18	36.0%	2018年度	36	72.0%	11	22.0%
2008年度	5	10.0%	45	90.0%	2019年度	12	24.0%	35	70.0%
2009年度	2	4.0%	48	96.0%	2020年度	16	32.0%	34	68.0%
2010年度	40	80.0%	8	16.0%	2021年度	41	82.0%	6	12.0%

4. 4業種別の総売上高はいずれも10%以上増加

地区別にみると、社数は「北信」が16社で最も多く、「南信」13社、「東信」12社、「中信」9社。前年度から「北信」が1社増、「東信」が1社減。金額は、「南信」（1兆1994億8000万円）が最も大きく、「東信」（1兆654億5800万円）も1兆円を超えた。「北信」の増加は9年連続。

業種別では、社数・金額とも「一般機械」と「電気機械器具」が拮抗している。社数は「輸送用機械器具」が1社増、「一般機械」が1社減。金額は前回、「電気機械器具」を除く3業種で減少していたが、今回は4業種いずれも前年度を10%以上上回った。「電気機械器具」は2年連続増加。また、前回11年ぶりに減少に転じた「一般機械」は今回、再び増加している。

地区別内訳

	2020年度			2021年度				
	社数	金額(百万円)	社数	構成比(%)	前年度増減	金額(百万円)	構成比(%)	前年度比(%)
北 信	15	537,027	16	32.0	1	687,166	21.9	28.0
東 信	13	842,461	12	24.0	▲1	1,065,458	34.0	26.5
中 信	9	192,537	9	18.0	0	182,471	5.8	▲5.2
南 信	13	1,031,192	13	26.0	0	1,199,480	38.3	16.3
合 計	50	2,603,217	50	100.0	-	3,134,575	100.0	20.4

業種別内訳

	2020年度		2021年度					
	社数	金額(百万円)	社数	構成比(%)	前年度増減	金額(百万円)	構成比(%)	前年度比(%)
一般機械製造業	21	1,119,960	20	40.0	▲1	1,378,948	44.0	23.1
電気機械器具製造業	19	1,307,664	19	38.0	0	1,544,787	49.3	18.1
輸送用機械器具製造業	6	115,141	7	14.0	1	142,525	4.5	23.8
精密、医療機械器具製造業	4	60,452	4	8.0	0	68,315	2.2	13.0
合 計	50	2,603,217	50	100.0	-	3,134,575	100.0	20.4

2021年度(2021年4月期～2022年3月期)長野県内企業売上高ランキング

順位	前年度 順位	社名	所在地	決算 (月)	売上高 (百万円)	伸び率 (%)
1	1	セイコーエプソン(株)	諏訪市	3	823,448	15.2
2	2	ミネベアミツミ(株)	御代田町	3	742,028	28.7
3	3	新光電気工業(株)	長野市	3	263,172	45.9
4	4	(株)竹内製作所	坂城町	2	122,753	28.1
5	5	日本電産サンキョー(株)	下諏訪町	3	90,872	6.3
6	8	KOA(株)	箕輪町	3	54,152	31.2
7	7	ルビコン(株)	伊那市	9	52,921	24.3
8	14	シチズンマシナリー(株)	御代田町	3	52,345	66.5
9	13	(株)ミマキエンジニアリング	東御市	3	43,634	33.4
10	9	多摩川精機(株)	飯田市	11	41,742	15.8
11	12	KYB-YS(株)	坂城町	3	41,310	24.4
12	10	(株)IHIターボ	大桑村	3	39,492	11.8
13	11	シナノケンシ(株)	上田市	2	38,728	11.2
14	17	櫻山工業(株)	佐久市	3	37,929	37.6
15	16	日精樹脂工業(株)	坂城町	3	36,452	24.4
16	15	オリオン機械(株)	須坂市	3	33,584	8.2
17	18	FICT(株)	長野市	3	32,704	23.7
18	22	(株)キョウデン	箕輪町	3	30,550	29.4
19	6	富士電機パワーセミコンダクタ(株)	松本市	3	29,402	—
20	21	アート金属工業(株)	上田市	3	27,591	16.4
21	19	長野日本無線(株)	長野市	12	26,715	4.1
22	28	日精エー・エス・ビー機械(株)	小諸市	9	25,372	38.0
23	26	長野計器(株)	上田市	3	24,372	22.7
24	29	日置電機(株)	上田市	12	23,870	33.6
25	25	東洋計器(株)	松本市	3	23,513	15.6
26	30	長野電子工業(株)	千曲市	2	21,909	23.4
27	—	VAIO(株)	安曇野市	5	21,878	—
28	24	松山(株)	上田市	12	21,849	5.1
29	31	タカノ(株)	宮田村	3	20,288	15.4
30	23	エムケー精工(株)	千曲市	3	20,082	▲ 4.1
31	35	(株)SIMMTECH GRAPHICS	茅野市	12	19,453	38.0
32	27	(株)デンソーエアークル	安曇野市	3	19,186	—
33	32	(株)鈴木	須坂市	6	17,982	2.3
34	38	(株)日本ビスコ	岡谷市	9	17,787	38.70
35	37	(株)都筑製作所	坂城町	3	16,443	20.9
36	33	(株)城南製作所	上田市	3	15,469	1.4
37	40	仁科工業(株)	長野市	3	14,851	18.4
38	47	(株)伸光製作所	箕輪町	3	13,804	33.7
39	34	(株)IHIアグリテック	松本市	3	12,936	▲ 14.4
40	48	上松電子(株)	上松町	9	12,657	25.2
41	36	上田日本無線(株)	上田市	12	12,271	▲ 12.0
42	46	不二越機械工業(株)	長野市	2	12,191	16.9
43	50	(株)nittoh	諏訪市	3	12,165	29.4
44	41	マクセルイズミ(株)	松本市	3	11,720	▲ 2.8
45	43	(株)サンコー	塩尻市	3	11,687	3.5
46	39	マルヤス機械(株)	岡谷市	12	11,217	▲ 11.1
47	45	野村ユニソン(株)	茅野市	5	11,081	5.3
48	42	(株)青木固研究所	坂城町	2	10,387	▲ 9.5
49	—	S&Sコンポーネンツ(株)	須坂市	6	8,366	13.2
50	—	(株)コシナ	中野市	1	8,265	43.3

※前年度順位「—」は50位圏外

※当該事業年度より「収益認識に関する会計基準」等を適用したことなどに伴い、伸び率を算出していない企業がある

※FICT(株)(17位)は、2022年1月に富士通インターコネクテクトテクノロジーズ(株)から社名変更

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。

著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。

【内容に関する問い合わせ先】

株式会社帝国データバンク 松本支店 担当:奥原

TEL 0263-33-2180 FAX 0263-35-7763